



公益社団法人日本心理学会 公開シンポジウム

企画：日本心理学会 東日本大震災復興支援特別委員会

入場無料
当日参加可

災害の後に人の心はどう動くか

被災された方や支える方のためのフィード・フォワード

震災や豪雨災害を被災された人には、様々な心理が生じます。つらい体験でストレスを感じる方もいれば、災害から立ち上がり人間として成長する方もいます。

日本心理学会では、東日本大震災後に特別委員会を設けて、被災した人の心にかかわる研究や支援活動を助成してきました。

本シンポジウムでは、そうした研究や支援活動の成果をふまえて、様々な災害で被災された方の心に生じる変化について紹介し、これから起こりうることについて説明(フィードフォワード)いたします。

日時：2018年11月18日(日)
13:30-16:40
(開場 13:00)

会場：広島大学 東千田キャンパス
A棟 501講義室 (定員150名)

宮谷 真人

(広島大学)
(日本心理学会常務理事)

「シンポジウム開催にあたって」

中原 元気

(広島県教育委員会)

「西日本豪雨災害で被災された方に起きていること」

堀毛 裕子

(東北学院大学)

「東日本大震災の心理支援を踏まえて」

松井 豊

(筑波大学)

「被災された方の心にこれから起こりうること」

参加申し込み

どなたでもご参加いただけます。当日参加も可能です。

事前お申し込みはE-mailにて、「件名」に『11/18復興支援シンポ』、「本文」に1.氏名、フリガナ、2.性別、年齢、3.〒、住所、電話番号、4.日本心理学会会員の方は会員番号、認定心理士の方は認定番号をお知らせください。(E-mail 送り先: jpa-event@psych.or.jp)

https://psych.or.jp/event/sympo2018_saigai/

